

# ■助産師基礎教育テキスト 2020年版【第7巻】

## 【改訂のポイント】

- ・「助産ケアの位置づけ」「身体的な異常」「心理社会的な異常」の視点で再構成し、8章から6章立てとしました。
- ・各疾患ごとに「定義と病態」「診断と治療・管理」「助産ケア」で整理し、必要な情報をコンパクトにまとめました。
- ・国家試験出題基準の「正常な経過からの逸脱／ハイリスク状態にある妊産褥婦と新生児への支援」に関する項目を網羅しました。
- ・重要タームが見つけやすいよう、目次と索引に略語や別名を併記しました。
- ・臨床で活躍する専門看護師や認定看護師、基礎教育の教員など、助産師が中心となって執筆しました。

新(2020年版) 責任編集:小林康江	旧(2019年版) 責任編集:遠藤俊子
<b>第1章 ハイリスク妊娠と助産ケア</b>	<b>第1章 ハイリスク妊娠と助産ケア</b>
<b>1 ハイリスク妊娠と助産師の役割</b> 1) ハイリスク妊娠の定義 2) ハイリスク妊娠における助産師の役割 <b>2 周産期医療体制における役割分担と協働・連携</b> 1) 周産期医療体制 2) 母体搬送・新生児搬送の適応と対応 3) 施設内の連携 4) 施設間の連携 5) 施設と地域間の連携 <b>3 異常徴候の早期発見のための定期健康診査とアセスメント</b> 1) アセスメント能力の強化 2) クリティカルパスを用いたハイリスク妊娠のスクリーニング 3) 妊婦自身のセルフモニタリング機能の強化 4) ハイリスク妊産褥婦と新生児のアセスメントの視点と助産ケア	<b>1 ハイリスク妊娠と助産師の役割</b> 1) ハイリスク妊娠の定義 2) ハイリスク妊娠における助産師の役割 <b>2 チーム医療における役割分担と協働・連携</b> 1) 施設内における連携 2) 施設間の連携 <b>3 異常徴候の早期発見のための定期健康診査とアセスメント</b> 1) アセスメント能力の強化 2) クリティカルパスを用いたハイリスク妊娠のスクリーニング 3) 妊婦自身のセルフモニタリング機能の強化 4) ハイリスク状態にある妊産褥婦と新生児のアセスメントの視点と助産ケア <b>4 母児の救急搬送</b> 1) 助産師の役割と業務 2) 周産期医療システム 3) 救急搬送の実際
<b>【第1章の主な変更点】</b> ・旧第1章2・4を統合し、新第1章2を構成 ・執筆者の変更(すべて助産師が担当)および内容の改訂	
<b>第2章 妊娠期の異常とそのケア</b>	<b>第2章 妊娠期の異常とそのケア</b>
<b>I 産科合併症のある妊婦へのケア</b> <b>1 異常妊娠の病態とケア</b> 1) 妊娠悪阻 2) 妊娠高血圧症候群(HDP) <b>2 妊娠持続期間の異常とケア</b> 1) 切迫流産／流産 2) 切迫早産／早産 3) 頸管無力症 4) 過期妊娠 <b>3 着床の異常とケア</b> 1) 異所性妊娠 <b>4 胎児の異常とケア</b> 1) 多胎妊娠 2) 血液型不適合妊娠 3) 胎位異常 4) 胎児発育不全(FGR) <b>5 胎児付属物の異常とケア</b> 1) 羊水過多／羊水過少 2) 前期破水(PROM) 3) 前置胎盤 4) 常位胎盤早期剥離 <b>6 母子感染症の妊婦へのケア</b> 1) TORCH症候群(トキソプラズマ症・梅毒・風疹・サイトメガロウイルス感染症・単純ヘルペスウイルス感染症) 2) クラミジア感染症 3) 淋病 4) 尖圭コンジローマ 5) 膣カンジダ症 6) B型肝炎／C型肝炎 7) 成人T細胞白血病(ATL) 8) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症 9) B群溶血性連鎖球菌(B群溶連菌)(GBS)感染症 10) ヒトパルボウイルスB19(HPV-B19)感染症 11) 水痘 12) 麻疹 <b>II 合併症のある妊婦へのケア</b> <b>1 帝王切開の既往</b> 1) 帝王切開の既往	<b>1 妊娠疾患</b> 1) 妊娠悪阻 2) 妊娠高血圧症候群 <b>2 妊娠持続期間の異常</b> 1) 流産 2) 切迫早産・早産 <b>3 胎児の異常</b> 1) 多胎妊娠 2) 血液型不適合妊娠 3) 胎位異常 <b>4 着床の異常</b> 1) 異所性妊娠 2) 前置胎盤 <b>5 胎児付属物の異常</b> 1) 常位胎盤早期剥離 2) 羊水過多症 3) 羊水過小症 4) 臍帯異常 5) 絨毛性疾患 <b>6 胎児発育異常</b> 1) 胎児発育不全 2) 染色体異常 3) 子宮内胎児死亡 <b>7 合併症妊娠</b> 1) 帝王切開の既往 2) 婦人科疾患合併妊娠: 子宮奇形 3) 婦人科疾患合併妊娠: 子宮筋腫 4) 婦人科疾患合併妊娠: 子宮頸癌 5) 婦人科疾患合併妊娠: 黄体嚢胞 6) 婦人科疾患合併妊娠: 卵巣腫瘍 7) 循環器疾患合併妊娠: 心疾患 8) 循環器疾患合併妊娠: 本態性高血圧 9) 呼吸器疾患合併妊娠: 気管支喘息 10) 呼吸器疾患合併妊娠: 肺結核 11) 消化器疾患合併妊娠: 虫垂炎 12) 消化器疾患合併妊娠: 腸閉塞 13) 腎・尿路系疾患合併妊娠: 慢性腎臓病

## 2 婦人科疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 子宮筋腫
- 2) 子宮頸癌
- 3) 卵巣腫瘍

## 3 循環器疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 心疾患

## 4 呼吸器疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 気管支喘息
- 2) 肺結核
- 3) インフルエンザ

## 5 腎疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 慢性腎臓病（CKD）
- 2) 尿路感染症

## 6 血液疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 妊娠性貧血
- 2) 特発性血小板減少性紫斑病（ITP）

## 7 内分泌・代謝疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 甲状腺機能亢進症／甲状腺機能低下症
- 2) 糖尿病合併妊娠／妊娠糖尿病（GDM）

## 8 自己免疫疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) 全身性エリテマトーデス（SLE）
- 2) 抗リン脂質抗体症候群（APS）

## 9 精神・神経疾患合併妊娠の病態とケア

- 1) てんかん
- 2) うつ病
- 3) 不安障害
- 4) 統合失調症

14) 腎・尿路系疾患合併妊娠：尿路感染症

15) 血液疾患合併妊娠：妊娠性貧血

16) 血液疾患合併妊娠：特発性血小板減少性紫斑病

17) 内分泌・代謝疾患合併妊娠：糖尿病合併妊娠・妊娠糖尿病

18) 内分泌・代謝疾患合併妊娠：甲状腺機能亢進症

19) 自己免疫疾患合併妊娠：全身性エリテマトーデス

20) 自己免疫疾患合併妊娠：抗リン脂質抗体症候群

21) 精神・神経疾患合併妊娠：うつ病

22) 精神・神経疾患合併妊娠：てんかん

23) 精神・神経疾患合併妊娠：統合失調症

## 8 母子感染症

- 1) 母子感染症
- 2) TORCH症候群
- 3) 性感染症
- 4) B型肝炎・C型肝炎
- 5) 成人T細胞白血病
- 6) B群溶血性レンサ球菌感染症
- 7) ヒトパルボウイルスB19感染症
- 8) 水痘
- 9) 麻疹

### 【第2章の主な変更点】

- ・新たに〔Ⅰ産科合併症のある妊婦へのケア〕〔Ⅱ合併症のある妊婦へのケア〕のレベルを設け、取り扱う疾患・異常を整理
- ・執筆者の変更（すべて助産師が担当）および内容の改訂

### 第3章 分娩期の異常とそのケア

#### Ⅰ 娩出力の異常とケア

##### 1 娩出力の異常とケア

- 1) 微弱陣痛
- 2) 遷延分娩
- 3) 過強陣痛

#### Ⅱ 産道の異常とケア

##### 1 産道の異常とケア

- 1) 骨産道の異常（狭骨盤）
- 2) 軟産道の異常（軟産道強靱）
- 3) 児頭骨盤不均衡（CPD）

#### Ⅲ 胎児および胎児付属物の異常とケア

##### 1 胎位・胎勢の異常とケア

- 1) 骨盤位（胎位の異常）
- 2) 横位（胎位の異常）
- 3) 反屈位（胎勢の異常）

##### 2 進入の異常とケア

- 1) 不正軸進入
- 2) 高在縦定位

##### 3 回旋の異常とケア

- 1) 反屈位（第1回旋の異常）
- 2) 後方後頭位（第2回旋の異常）
- 3) 低在横定位（第2回旋の異常）
- 4) 過剰回旋（第2回旋の異常）

##### 4 胎児機能不全とケア

- 1) 胎児機能不全（NRFS）

##### 5 胎盤の異常とケア

- 1) 低置胎盤
- 2) 癒着胎盤
- 3) 常位胎盤早期剥離

##### 6 卵膜・臍帯の異常とケア

- 1) 前期破水（PROM）
- 2) 臍帯下垂／臍帯脱出

##### 7 胎児の異常とケア

- 1) 多胎
- 2) 胎児の形態異常
- 3) 肩甲難産

#### Ⅳ 分娩に伴う損傷・合併症とケア

##### 1 分娩に伴う損傷とケア

### 第3章 分娩期の異常とそのケア

#### 1 娩出力の異常

- 1) 微弱陣痛
- 2) 過強陣痛

#### 2 胎児および胎児付属物の異常

- 1) 回旋異常
- 2) 胎児機能不全
- 3) 低置胎盤
- 4) 臍帯下垂・臍帯脱出
- 5) 癒着胎盤
- 6) 前期破水
- 7) 新生児仮死

#### 3 産道の異常・分娩時裂傷

- 1) 会陰裂傷
- 2) 膣壁裂傷
- 3) 膣壁血腫・会陰血腫
- 4) 子宮頸管裂傷
- 5) 子宮破裂
- 6) 会陰切開術・会陰切開縫合術
- 7) 弛緩出血

#### 4 早産・過期産

- 1) 早産
- 2) 過期産

#### 5 分娩に伴う損傷・合併症

- 1) 産科ショック
- 2) 産科DIC
- 3) 羊水塞栓症
- 4) HELLP症候群
- 5) 急性妊娠脂肪肝

#### 6 産科手術の介助とケア

- 1) 急速遂娩法
- 2) 吸引分娩
- 3) 鉗子分娩
- 4) 骨盤位牽出術
- 5) 帝王切開術

- 1) 会陰裂傷
  - 2) 膣裂傷
  - 3) 子宮頸管裂傷
  - 4) 子宮破裂
  - 5) 膣壁血腫／会陰血腫
  - 6) 子宮内反症
- 2 分娩に伴う合併症とケア**
- 1) 弛緩出血
  - 2) 子癇

**V 産科処置・手術とケア**

**1 産科処置・手術とケア**

- 1) 陣痛誘発／陣痛促進
- 2) 吸引分娩術
- 3) 鉗子分娩術
- 4) 骨盤位牽出術
- 5) 子宮底圧迫法
- 6) 腹式帝王切開術
- 7) 産科麻酔（硬膜外麻酔）
- 8) 会陰切開術
- 9) 分娩外傷時の縫合術
- 10) 胎盤圧出法／胎盤用手剥離／子宮内反整復術

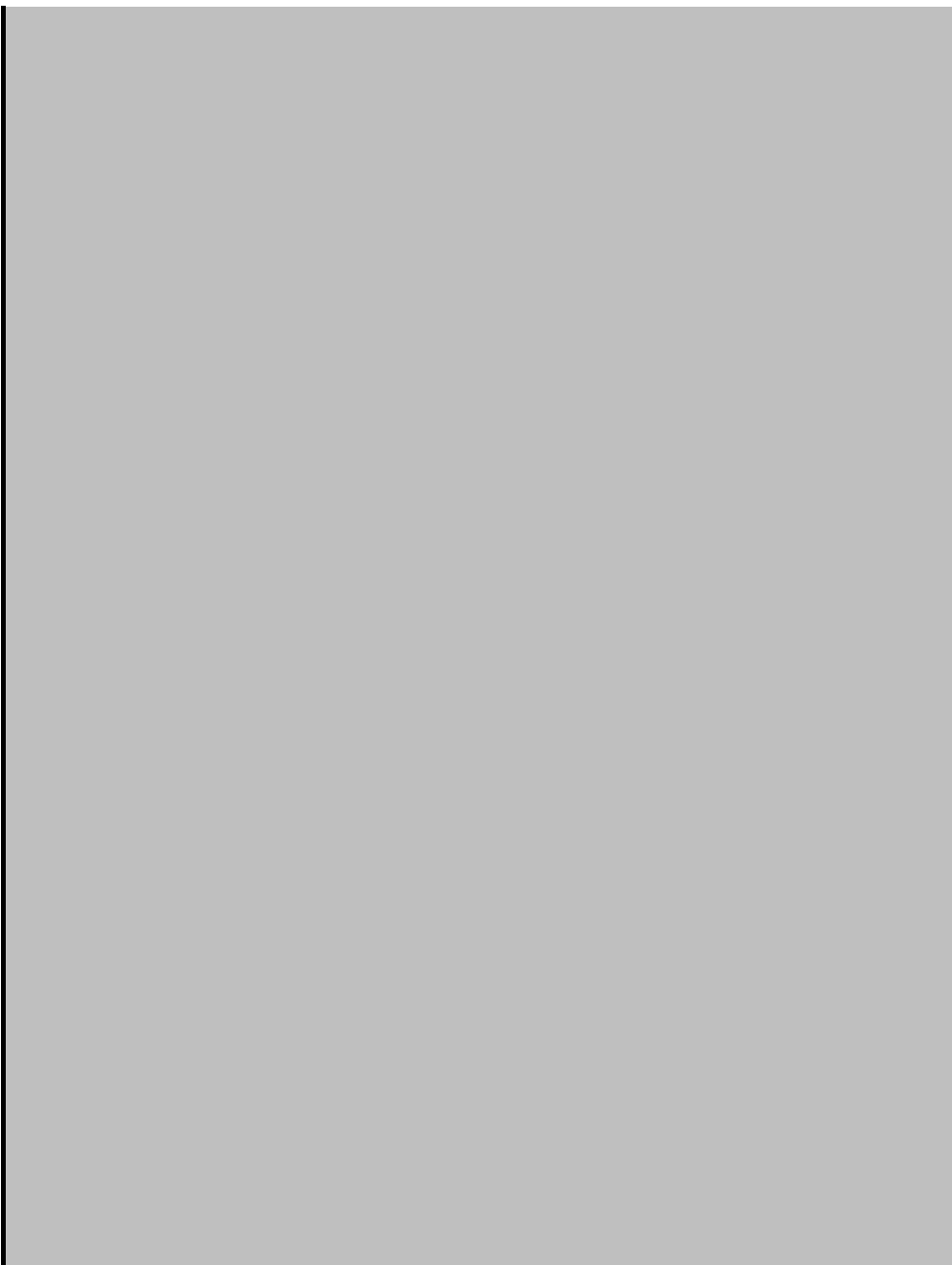
**VI 緊急時の処置とケア**

**1 産科ショック時の応急処置**

- 1) 産後の過多出血（分娩時異常出血（PPH））
- 2) 産後の過多出血の予防および止血法
- 3) 使用物品と薬剤
- 4) 産科危機的出血の診断と対応（出血性ショック時の処置）
- 5) 非出血性ショック時の処置
- 6) 母体の蘇生法

**2 緊急時のケア**

- 1) 産科ショック時のケア
- 2) 妊産褥婦への説明と同意
- 3) 妊産褥婦の心理的支援
- 4) 家族への心理的支援



**【第3章の主な変更点】**

- ・新たに〔Ⅰ 娩出力の異常とケア〕〔Ⅱ 産道の異常とケア〕〔Ⅲ 胎児および胎児付属物の異常とケア〕〔Ⅳ 分娩に伴う損傷・合併症とケア〕〔Ⅴ 産科処置・手術とケア〕〔Ⅵ 緊急時の処置とケア〕のレベルを設け、取り扱う疾患・異常を整理
- ・執筆者の変更（救急救命および手術・処置は産婦人科医師が、それ以外は助産師が担当）および内容の改訂

**第4章 産褥期の異常とそのケア**

**I 身体的な問題のある褥婦へのケア**

**1 子宮の異常とケア**

- 1) 分娩後異常出血（PPH）
- 2) 後期分娩後異常出血／産褥晩期出血
- 3) 子宮復古不全

**2 感染や炎症を伴う異常とケア**

- 1) 産褥熱
- 2) 子宮内膜炎
- 3) 尿路感染症
- 4) 深部静脈血栓症（DVT）／肺血栓塞栓症（PTE）
- 5) 静脈瘤
- 6) 血栓性静脈炎

**3 分娩の影響による異常とケア**

- 1) 下部尿路症状（LUTS）
- 2) 骨盤臓器脱（POP）
- 3) 恥骨結合離解

**II 精神的な問題のある褥婦へのケア**

**1 精神的不調に対するケア**

- 1) マタニティ・ブルーズ
- 2) 産後うつ病
- 3) 産後精神病
- 4) 精神的な不調を抱える女性への多職種による継続的な支援体制

**第4章 産褥期の異常とそのケア**

**1 身体的な問題**

- 1) 産褥出血
- 2) 子宮復古不全
- 3) 血腫
- 4) 産褥熱
- 5) 血栓性静脈炎・深部静脈血栓症
- 6) 尿路感染症
- 7) 尿閉

**2 精神的な問題**

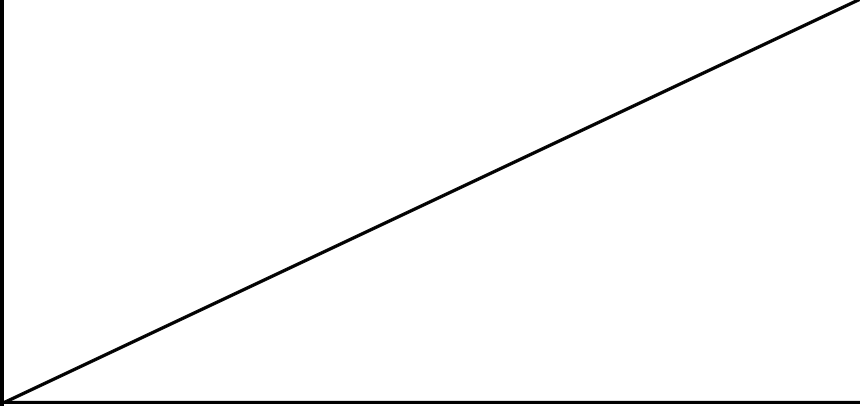
- 1) マタニティブルーズ
- 2) 産後うつ病
- 3) 産褥精神病

**【第4章の主な変更点】**

- ・新たに〔Ⅰ 身体的な問題のある褥婦へのケア〕〔Ⅱ 精神的な問題のある褥婦へのケア〕のレベルを設け、取り扱う疾患・異常を整理
- ・執筆者の変更（すべて助産師が担当）および内容の改訂

第5章 ハイリスク新生児の疾患とそのケア	第5章 ハイリスク新生児の病態とそのケア
<p><b>I 低出生体重児・早産児の特徴</b></p> <p><b>1 ハイリスク新生児の定義</b></p> <p>1) ハイリスク新生児の定義</p> <p><b>2 低出生体重児・早産児の分類</b></p> <p>1) 出生体重による分類</p> <p>2) 在胎週数による分類</p> <p>3) 在胎週数と出生時体格による分類</p> <p><b>3 低出生体重児・早産児の予後と経過</b></p> <p>1) 死亡率</p> <p>2) 成長・発達</p> <p>3) 後遺症</p> <p><b>4 ハイリスク新生児のケアの原則</b></p> <p>1) ファミリーセンタードケア</p> <p>2) ディベロップメンタルケア</p> <p>3) 母乳育児への支援</p> <p>4) 新生児蘇生</p> <p>5) 感染対策</p> <p>6) ハイリスク新生児のフォローアップ</p> <p><b>II ハイリスク新生児の疾患と生理学的特徴に基づくケア</b></p> <p><b>1 新生児の外観に現れる疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) not doing well</p> <p>2) 新生児皮膚疾患</p> <p>3) 新生児眼疾患</p> <p>4) 先天奇形</p> <p><b>2 呼吸器系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 新生児一過性多呼吸 (TTN)</p> <p>2) 胎便吸引症候群 (MAS)</p> <p>3) 気胸／縦隔気腫</p> <p>4) 呼吸窮迫症候群 (RDS)</p> <p>5) 無呼吸発作</p> <p><b>3 循環器系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 動脈管開存症 (PDA)</p> <p>2) 新生児遷延性肺高血圧症 (PPHN)</p> <p>3) 心疾患</p> <p><b>4 体温調整機能障害の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 低体温症</p> <p><b>5 血液系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) ビタミンK欠乏性出血症</p> <p>2) 未熟児貧血</p> <p><b>6 消化器系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 消化管閉鎖</p> <p>2) 鎖肛／直腸肛門奇形</p> <p>3) 新生児壊死性腸炎 (NEC)</p> <p>4) 新生児メレナ</p> <p><b>7 代謝性疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 新生児低血糖症</p> <p>2) 低カルシウム血症</p> <p>3) 早産児骨減少症 (未熟児くる病)</p> <p><b>8 ビリルビン代謝性疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 高ビリルビン血症</p> <p>2) 急性ビリルビン脳症／核黄疸</p> <p><b>9 免疫系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 新生児感染のルートと主要な疾患</p> <p>2) 敗血症／髄膜炎</p> <p><b>10 中枢神経系疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 脳室内出血 (IVH)</p> <p>2) 脳室周囲白質軟化症 (PVL)</p> <p>3) 低酸素性虚血性脳症 (HIE)</p> <p><b>11 分娩損傷 (分娩外傷) に対するケア</b></p> <p>1) 軟部組織の損傷</p> <p>2) 神経損傷 (上腕神経叢麻痺)</p> <p>3) 骨損傷</p> <p><b>12 主要疾患の病態に基づくケア</b></p> <p>1) 未熟児網膜症 (ROP)</p> <p>2) 胎児発育不全 (FGR) であった児</p> <p>3) 後期早産児 (late preterm児)</p>	<p><b>1 新生児の異常徴候と疾患</b></p> <p>1) 新生児の異常徴候</p> <p>2) 新生児の疾患</p> <p><b>2 呼吸循環障害</b></p> <p>1) 新生児仮死</p> <p>2) 呼吸窮迫症候群</p> <p>3) 胎便吸引症候群</p> <p><b>3 分娩損傷</b></p> <p><b>4 黄疸</b></p> <p><b>5 低出生体重児と親へのケア</b></p> <p>1) 低出生体重児・早産児の定義と分類</p> <p>2) 低出生体重児へのケア</p> <p>3) 低出生体重児・早産児の親へのケア</p> <p>4) 低出生体重児の予後とフォローアップ</p> <p><b>6 ハイリスク新生児の母乳育児支援</b></p> <p>1) 早産児と母乳</p> <p>2) 搾乳方法および母乳の管理法</p> <p>3) 直接授乳の支援</p> <p>4) 児が亡くなった場合の乳房ケア</p> <p><b>7 ハイリスク新生児のディベロップメンタルケア</b></p> <p>1) 新生児の神経発達</p> <p>2) ディベロップメンタルケア</p> <p>3) ディベロップメンタルケアの実際</p>
<p><b>【第5章の主な変更点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに〔I 低出生体重児・早産児の特徴〕〔II ハイリスク新生児の疾患と生理学的特徴に基づくケア〕のレベルを設け、取り扱う疾患・異常を整理</li> <li>・取り扱う疾患・異常の記載内容を強化</li> <li>・執筆者の変更(すべて助産師が担当)および内容の改訂</li> </ul>	

第6章 心理社会的なハイリスク状態にある妊産婦と家族へのケア	第6章 心理社会的ハイリスク妊産婦と家族へのケア
<p><b>1 特定妊婦へのケア</b></p> <p>1) 特定妊婦とは</p> <p>2) 妊娠の受容が困難／胎児との愛着形成が困難な妊婦</p> <p>3) 被虐待経験者</p> <p>4) 未受診妊婦</p> <p>5) 若年妊娠</p> <p>6) 高年妊娠</p> <p>7) ひとり親家庭</p> <p><b>2 不妊治療によって妊娠した親へのケア</b></p> <p>1) 不妊治療後の妊娠・出産</p> <p><b>3 外国人妊産婦へのケア</b></p> <p>1) グローバル社会の理解</p> <p>2) 外国人妊産婦の特徴</p> <p>3) 外国人妊産婦へのケア</p> <p><b>4 帝王切開分娩を経験した親へのケア</b></p> <p>1) 帝王切開分娩の年次推移</p> <p>2) 帝王切開分娩に対する認識</p> <p>3) 帝王切開既往妊婦</p> <p>4) 帝王切開術後のケア</p> <p><b>5 多胎児を育てる親へのケア</b></p> <p>1) 多胎児を育てる親へのケア</p> <p><b>6 障害児や予後不良児を育てる親へのケア</b></p> <p>1) 先天性の障害とは</p> <p>2) 子どもの障害を告知された家族の体験</p> <p>3) 子どもの障害に向き合う家族の葛藤</p> <p>4) 子どもの障害を受け入れる過程を支えるケア</p> <p>5) 予後不良の子どもと家族へのかかわり</p> <p><b>7 子どもを亡くした親へのケア</b></p> <p>1) ペリネイタルロスを経験した両親を理解する</p> <p>2) 子どもを亡くした両親へのケア</p> <p><b>8 出生前診断を受ける妊婦・家族へのケア</b></p> <p>1) 遺伝カウンセリング</p> <p>2) 出生前診断をめぐる助産ケア</p>	<p><b>1 若年妊産婦へのケア</b></p> <p>1) 若年妊娠の定義</p> <p>2) 若年妊娠の年次推移</p> <p>3) 若年妊産婦の心理社会的特徴</p> <p>4) 産科的リスク</p> <p>5) 親になることへの支援</p> <p>6) 社会資源の活用</p> <p><b>2 未婚女性へのケア</b></p> <p>1) 女子の未婚率の推移と動向</p> <p>2) 未婚女性の意識</p> <p>3) 未婚女性の健康問題とケア</p> <p><b>3 外国人妊産婦へのケア</b></p> <p>1) 助産師の普遍的マタニティケアの原則</p> <p>2) 多文化共生時代における母子保健</p> <p>3) 外国人妊産婦へのケア</p> <p><b>4 子どもを亡くした親へのケア</b></p> <p>1) ペリネイタルロスを経験した両親の理解</p> <p>2) 子どもを亡くした両親へのケア</p> <p><b>5 親役割獲得が困難な人々へのケア</b></p> <p>1) 親役割獲得困難とは</p> <p>2) 児童虐待について</p> <p>3) 児童虐待ケースのフォロー</p> <p>4) 虐待している保護者へのケア</p> <p><b>6 多胎児を育てる親へのケア</b></p> <p>1) 産後の母親の健康</p> <p>2) 授乳の支援</p> <p>3) 多胎児特有の育児の悩み</p> <p>4) 家族へのケア</p> <p>5) 社会資源の活用</p> <p><b>7 障害のある子どもを育てる親へのケア</b></p> <p>1) 障害のある子どもとは</p> <p>2) 出生前診断と家族への支援</p> <p>3) 子どもの障害を受け入れる過程におけるケア</p> <p>4) 医療従事者の思いと家族への支援</p>
<p><b>【第6章の主な変更点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧第6章、第7章、第8章の内容を含めて再構成</li> <li>・執筆者の変更(すべて助産師が担当)および内容の改訂</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;"><b>第7章 出生前診断を考える妊婦の意思決定へのケア</b></p> <p><b>1 助産活動における遺伝医学の重要性</b></p> <p><b>2 染色体と遺伝子</b></p> <p>1) 染色体</p> <p>2) 遺伝子</p> <p><b>3 遺伝性疾患</b></p> <p>1) 遺伝性疾患の考え方</p> <p>2) 染色体異常症</p> <p>3) 遺伝子異常症</p> <p>4) エピジェネティクス異常症</p> <p>5) 遺伝学的検査</p> <p><b>4 出生前診断</b></p> <p>1) 出生前診断とは</p> <p>2) 出生前診断と遺伝学的検査</p> <p>3) 遺伝学的検査に関するガイドライン</p> <p>4) 遺伝核的情報の取り扱い：ヒト遺伝情報に関する指針・ガイドライン</p> <p><b>5 助産活動と遺伝カウンセリング</b></p> <p>1) 遺伝カウンセリングの定義</p> <p>2) 遺伝カウンセリングの理念と特質</p> <p>3) 助産師がかかわる相談内容</p> <p>4) 遺伝カウンセリングの実際</p> <p><b>6 出生前診断における助産ケア</b></p> <p>1) 遺伝学的検査による出生前診断における助産ケア</p> <p>2) 妊娠中期・後期の胎児の超音波画像診断における助産ケア</p>
<p>・旧第7章のうち、各種出生前診断の解説はシリーズ第4巻に集約</p> <p>・旧第7章のうち、出生前診断におけるケアについて新第6章で解説</p>	

	第8章 不妊症治療後妊娠におけるケア
	<p>1 不妊症治療と治療後妊娠において生じる諸問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 不妊症治療</li> <li>2) 不妊症治療後妊娠において生じる諸問題</li> </ul> <p>2 不妊症治療後妊娠における助産ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 不妊症治療後妊娠における心の動きとケアのポイント</li> <li>2) 不妊症治療の体験を理解する</li> <li>3) 化学的流産体験の影響を理解する</li> <li>4) 妊娠継続時の心の特徴を理解する</li> <li>5) ケアとカウンセリングのポイント</li> </ul>
	<p>・旧第8章の内容を凝縮し、新第6章2へ移動</p>